

神戸日西協会 設立35周年記念事業

「ソル・イ・ソンプラ バルセロナ展 2014」報告

作成：2014年3月1日
神戸日西協会事務局

この度、「神戸日西協会」設立35周年事業として「ソル・イ・ソンプラ バルセロナ展」がバルセロナ市（スペイン）で開催された。これは本年が神戸市・バルセロナ市姉妹都市提携20周年の節目の年であることを記念して開催される「神戸観光写真展」との協同開催であり、神戸市役所訪問団とともに神戸日西協会訪問団は、同展出品者を中心にスペイン愛好者ならびに文化愛好者で構成された。

出張期間：2014年1月29日（水）～2月9日（日） 12日間

訪問先：スペイン国カタロニア州の州都バルセロナ市を中心とした地域

※訪欧に際し、利用航空会社がKLM オランダ航空で乗り継ぎ空港としてアムステルダム・スキポール空港を利用し、神戸日西協会の訪欧団集客のためオランダ訪問を組み入れた。

訪問団：下記の15名により構成された。（敬称略）

神戸市関係者訪問団《2014年1月29日（水）～2月1日（土）》

玉田敏郎（副市長）・大澤和士（神戸市会議長）・松田高明（国際交流推進部部長）
久保田綾子（国際交流推進部係長）・笈田竹志（市議会政策調査課担当係長）

計5名

神戸日西協会関係者訪問団（敬称略）

下村俊子（神戸日西協会会長）・鈴木邦江（神戸日西協会理事）・岩倉由美（神戸日西協会会員）・鶴巻京子（神戸日西協会会員）・永江久美子（神戸日西協会会員）、
永江堅（ご子息）・大澤直幸（文化愛好者）・佐々木富士子（写真家）
安村一夫（神戸日西協会事務局長）・日崎隆広（神戸日西協会事務局） 計10名

感想：【スペイン・バルセロナを中心とした報告】

バルセロナ市を州都とするカタロニア自治州は、北はフランス国境となるピレネー山脈に、東から南にかけては地中海に面している。バルセロナ市は人口162万人（バルセロナ首都圏は人口324万人）の首都のマドリッドに次ぐスペイン第二の都市で、古代ローマ時代からの国内外の交易を中心に発展してきた。

港湾は整備されたコンテナヤードや、地中海クルーズの発着港としても賑わいをみせているが、地中海に面した風光明媚で且つ海水もきれいな港町である。

言語もスペイン語とこの地域の言葉「カタロニア語」を母国語とする「カタロニア人」の「国」で、スペインからの独立を希望する「カタロニア自治州政府」による一国である。

恵まれた水産物と都市部を三面で囲む農業地域と先進の工業産業地域を有し、車で3時間も北上するとフランスに入り、最近できたユーロ新幹線を活用すると6時間でパリに行ける、フランスの文化を多分に受けた地域である。

計画的に区画された中心市街地の旧市街地は「ゴシック地区」と呼ばれるパリをモデルに計画された地区と近代的な建築の並ぶ洗練された新市街地とで構成される。主な歴史的建造物や重厚な教会建築などはゴシック地区に集中している。日本人彫刻家・外尾悦郎氏が主任彫刻家を務めるアントニ・ガウディ設計によるサグラダ・ファミリア聖堂もこのゴシック地区に属する。ゴシック様式の建築の他、この地域独特の建築様式「カタロニア様式」の数少ない現存建築サン・パウ病院、また前述の天才建築家ガウディの手による様々な建築物などが、この町の文化的水準の高さと歴史的伝統を伝えている。

神戸日西協会記念事業として開催された「ソル・イ・ソンプラ バルセロナ展」は、1月31日設営後夕刻より200名ほどの招待者による開会式とオープニングセレモニーを行い、翌2月1日より5日までの5日間の一般公開が始まった。会場は次項の写真にもあるバルセロナ市役所旧市庁舎の1階部分での開催である。この建物は、ゴシック様式の重厚な建物で、文化財に指定されたもので、彫刻で飾られた階段を上ると、そこには床から天井まで素晴らしい装飾や絵画で飾られた会議室や議会室、並びに礼拝堂等が迎えてくれる。どこを見ても歴史と文化を感じさせる。

開催期間中の5日で延べ2000名を超える来場者の方に、神戸の観光写真とともに神戸日西協会会員の絵画や工芸作品をご覧いただいた。開催期間中何度か現場に行くと観覧者との話も弾む。これも本年が、歴史の中で400年前に伊達正宗が家臣の支倉常長をローマに派遣した際にスペインに立ち寄ったという歴史的な交流史話と同時に、両国の記念の文化交流事業が多くなされていることと、バルセロナに日本人が多く住むことと、ユネスコの文化遺産に日本食が登録されたことにより、日本に対する印象は大変良かった事も来場者の数に表れている。

また訪西会員も外尾悦郎氏によるサグラダ・ファミリア聖堂の説明や、氏の工房訪問など、特別な事項も加えることが出来た。また、参加者の大半がアーティストであったため、近隣エリアでのミロやダリ、ピカソをはじめとする美術館訪問や、歴史博物館の見学も加えたので、より印象的なスペイン訪問となったことは、事務局としても大変良かったと思う。

神戸市の姉妹都市であるバルセロナ市。他の都市もそうであるだろうが、折角の姉妹都市という関係を、今後はお互いにフルに活用して、様々な交流に発展していかってほしいと願う。

以上

《神戸日西協会 ソル・イ・ソンブラ バルセロナ展 会場風景》



バルセロナ市役所 旧市庁舎



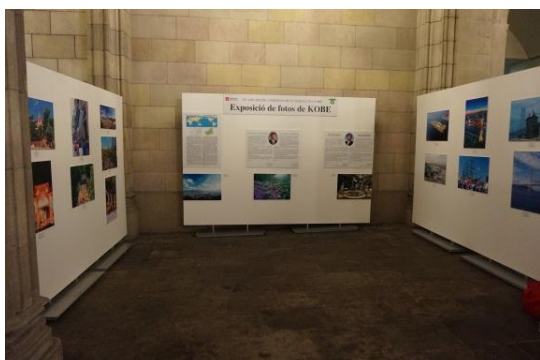
旧市庁舎 2階の広間



ソル・イ・ソンブラ バルセロナ展



ソル・イ・ソンブラ バルセロナ展



神戸市観光写真展示



開会式テープカット



オープニングに集まれた人々



神戸市バルセロナ市姉妹都市 20周年調印式

(現地での配布資料)

Sociedad Hispano-Japonesa de Kobe
神戸日西協会

EXPOSICIÓN SOL Y SOMBRA
ソル・イ・ソンブラ バルセロナ展

Del 31 de gener al 6 de febrer 2014
De 11 a 20 h

A l' Ajuntament de Barcelona (pati interior), plaça de Sant Jaume, 1.

出品者氏名 Autor de l'obra Autor de la obra	作品区分 Tipus d'obra Tipo de obra	題名 Títol Título
鈴木 邦江 Kunie Suzuki	パステル Pastel Pastel	神戸 Kobe Kobe
徳永 幸子 Yukiko Tokunaga	水彩 Aquarel·la Acuarela	日本女性の踊り Dona japonesa ballant Mujer japonesa bailando
藤原 護 Mamoru Fujiwara	油彩 Oli Óleo	森へ Cap al bosc Hacia el bosque
藤原三千代 Michiyo Fujiwara	油彩 Oli Óleo	春を待つ Esperant la primavera Esperando la primavera
鶴巻 京子 Kyoko Tsurumaki	油彩 Oli Óleo	光の中で Enmig de la llum En medio de la luz
甲斐 幸 Sachi Kai	油彩 Oli Óleo	遊 Joc Juego
岩倉 由美 Yumi Iwakura	工芸 Obra d'artesanía Obra de artesanía	フラメンコ・スペイン "Flamenc - Espanya" "Flamenco - España"
永光 敬子 Keiko Nagamitsu	アクリル Pintura acrílica Pintura acrílica	マイケル・ジャクソン聞きながら Escoltant Michael Jackson Escuchando a Michael Jackson
瀬戸 房子 Fusako Seto	油彩 Oli Óleo	姫路城 Castell de Himeji Castillo de Himeji
日崎 隆広 Takahiro Hisaki	日本画 Pintura d'estil japonès Pintura de estilo japonés	母と子 Mare i fill Madre e hijo

神戸日西協会 35 周年事業としての「ソル・イ・ソンプラ バルセロナ展」開催に向けて、同事業を 下記のように神戸新聞紙面で取材掲載をいただいた。

(掲載日 2014 年 1 月 25 日 神戸新聞朝刊)

1月25日 土曜日 神戸 わがまち 26



スペインの風景を描き続ける洋画家鈴木邦江さん。神戸市須磨区のアトリエ

神戸日西協会

洋画家鈴木邦江さん
 (65) 神戸市須磨区 下村俊子(会長) 所属の美術家ら10人が、神戸市の姉妹都市、スペイン・バルセロナの市庁舎ホールで31日、2月5日、美術展「ソル・イ・ソンプラ展」を開く。同協会の35周年記念事業の一環。情熱の国、美術を通じて神戸や日本の魅力をPRし、親善を深める。

同協会は1978年の設立で約200人が所属。展覧会のタイトルはスペイン語で「光と影」という意味で、ピエス織り作家岩倉由美さん(65) 同市東灘区

神戸の魅力 スペインで伝える
 洋画家・鈴木さんから 31日からバルセロナで美術展

区にフラメンコをテーマにした作品のほか、油彩画、水彩画計11点が市庁舎を飾る。20年以上前から同国の古都トレドなどに通い、風景画を制作する鈴木さんは今回、神戸・ハーバーランド周辺の港の情景を軽快に表現した横長のバスデル画を出品。長年スペインの人々を描いてきた徳永幸子さん(75) 同市は日本舞踊を題材に、水彩で日本の伝統美を描く。

鈴木さんは「神戸の良さを伝えるだけでなく、スペインを愛する画家が神戸に居ることを現地の人に知ってもらえたら」と話している。(堀井正純)

野球部の時から目指し